

第540回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和5年6月7日（水）午前11：00より
2. 開催場所 長野放送本社会議室
3. 委員の出席 ○委員総数 8名
○出席委員数 7名
○出席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）
委員長 林 新一郎
副委員長 井口 弥寿彦
委員 浅井 隆彦
委員 加藤 恵美子
委員 笹本 正治
委員 武重 正史
委員 南澤 光弥
○欠席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）
委員 瀧川 浩
○放送事業者側出席者名
外山 衆司 （代表取締役社長）
船木 正也 （常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当）
太田 耕司 （常務取締役 報道制作・企画事業担当）
西條 彰浩 （報道制作局長）
早川 英治 （編成業務局長）
浅輪 清 （編成業務局次長 兼 考査部長
兼 放送番組審議会事務局長）
北澤 輝久 （編成業務局編成部長 兼 視聴者室長）
伊藤 晴彦 （報道制作局次長）
大日方詩織 （報道制作局制作部）

4. 議題

（1）番組審議

『 NBSフォーカス∞信州 みほとけ信州美仏めぐり 』

(2) 視聴者対応報告（令和5年5月分）

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・ 仏像というものに対して敬遠しがち、興味も示さないという人たちにもアプローチできる番組だった。
- ・ 明るく爽やかに「美仏」という表現を使って、身近に感じていただきながら親しみやすく、これから更に興味を持つというきっかけになって非常にいい番組を作っていた。
- ・ 明治時代の神仏の分離、諏訪の神仏プロジェクトの内容、県内の仏像の分布や時代背景などについて興味を持つきっかけとしていい番組だった。
- ・ 仏像に対する思いとか知見があって番組を見進めるうちに、みほとけさんのジェスチャーや表情に引き込まれていく感じがした。
- ・ 仏像本体の造形美についてみほとけさんが独特な感性で表現をしていく。このキャスティングは絶妙だったと感じた。
- ・ 信州の仏像が作られた年代を年表みたいにして字幕に出すなどわかりやすくした方が、子どもも見やすいのではないかと思う。
- ・ 仏像の顔やスタイルの見方とか、視聴者が次に仏像を見る時にはどういうところを気にした方がいいのかがわかりやすい。

- ・仏像というのは何もお寺にあるのばかりが仏像ではなくて、摩崖仏も木喰実仏も円空仏も信州にはあるので、仏像の持つ信仰の奥深さにまで及んでいただければ良かった。
- ・本来仏像は信仰対象であるという部分がほとんど見えてこない。
- ・全て真言宗のお寺だと思うので、今回の番組の制作にあたって宗派のことでテーマがあったのか聞かせて欲しい。
- ・廃仏毀釈という動きが信州ではどうだったのか。貴重な仏像はどう守られてきたのかというところも触れて欲しかった。
- ・番組の冒頭に阿修羅展を持って来てそこから14, 5年続いていますという構成は、無理があるのではないか。
- ・みほとけさんは芸人さんなので5分でもしっかり芸を見せていただきたいと個人的には興味もわいた。
- ・主体が仏像そのものではなくて芸人であるみほとけさんの方に行ってしまうのではないか。
- ・宗教的対象としての仏像をどのように考えていったらいいのかという一番大きな問題が消えている。
- ・県内には重文クラスの仏像がどの地域にどのくらいあって、時代的にはどう広がっていて、作風はどんな流れを汲む仏像が目立つのかといった概略的なものを示していただけたら、多少なりとも仏像の美しさについて、言わば奈良・京都的な主流と言えるような美しさとか、これは異端的な美だねというようなものをもう少し感じることができたのではないか。

(2) 視聴者対応報告

資料に基づき、令和5年5月分の視聴者対応について編成部より報告を行った。

(3) その他

配布資料

- ・第539回番組審議会（令和5年5月）議事録
 - ・視聴者対応報告資料（令和5年5月分）
 - ・令和5年番組審議会開催予定日（変更版）
 - ・モニターレポート
- 『NBSフォーカス∞信州 みほとけ信州美仏めぐり』
- ・BPO報告（NO.252）
 - ・民間放送（第2215号）

以 上